

2013年度第10回執行理事会議事録

期 日：2014年4月5日（土）10:00～12:30

場 所：北とびあ 901会議室

出席者：石渡会長 ウォリス副会長 渡部副会長 齋藤常務理事 伊藤 井龍 高木 内藤 中澤 西 平田 星 保柳 松田 山路 山本 松田 議長 久田副議長、(事務局) 橋辺

欠席者(委任状提出, 未記入議場委任): 高木 中澤 山口

*定足数 (12, 委任状含む) に対し, 出席者15名, 委任状 3名, 合計18名の出席.

*前回議事録の確認のうえ了承された.

I 審議事項

1. 選挙規則の改正

1) 第5条1項の監事について, 役員ごとの改選年を加える.

2) 選挙規則第5条, 現行6項について, 文章不備につき文言の修正をする. また, 項番号を4項に変更し, 現行4項を5項に, 以下順次繰り下げて11項までとする.

3) 付表のうち官公庁欄から「公団」を削除する.

* 選挙規則は総会承認事項ですので, 総会議案に入れます.

2. 選挙細則の改正

1) 第6条2項の立候補届の提出方法について, 公正を明確にするため持参は受け付けていないので削除する.

2) 代議員選挙においては地方支部区の順位付けの必要なくなったのでその文言を削除する.

3. 「国立公園地質リーフレット (シリーズ)」および「国立公園地質リーフレット・たんけんシリーズ」の名称変更とそれに伴う細則改正について
国立公園以外の地域も対象とする実情に合わせて細則を改正することが企画出版委員会より提案された. 改正以前のものにも配慮して, 著作権の項に文言を追加し, 改正案を理事会に提案することとした.

4. Proposal for a Joint Global Meeting (2015/5/24-29)

2015年連合大会でのGSAと地質学会の共催セッション・巡検について

GSAに提案し, 肯定的な返事あり. 本会は巡検準備をサポートする. 本会の巡検窓口担当者を決定する必要あり.

5. 1970年代空中写真のダウンロード廃止に関する要望書提出について, 国土交通大臣宛に活断層学会等と連携して要望書を提出する. 齋藤常務が対応する.

6. 鹿児島での津波シンポジウムにたいする助成について

海外から4名を招聘予定. 本会としてどのような

助成ができるか, 財務収支も考慮して至急検討する.

7. 2013年度決算概要・2014年度予算案について

引当金に頼らないよう, 財政健全化をはかる必要がある. 特に出版事業支出をいかにして減らすかが大きな課題. 今後, 地質学雑誌の隔月化や完全電子化の可能性を検討する. ジオルジュもコスト意識をもって今後の見通しを検討する, ことなどが話し合われた.

8. 議長, 副議長とともに, 理事会議案の確認をした.

II 報告事項

(1) 全体的報告

1. 理事会メール審議

1) 「富士山・青木ヶ原溶岩のたんけん一樹海に秘められた溶岩の不思議」については, 年度内刊行の都合により, 最終原稿を理事会のメール審議に付した. 原稿については一部微修正検討の注文があったが, 著者による修正を確認して, 全員一致で承認された.

2. 3月13日に開票が行われた理事選挙の報告があった.

3. 「共立スマートライブラリー」の出版企画にたいする, テーマおよび著者の推薦について (西理事) 執筆の候補者となる会員を列挙して, 共立出版へ知らせた. 後は出版社の裁量にお任せすることになる.

4. 関東支部の総会にあたり会長への挨拶依頼があり, 山本理事が出席し会長のメッセージを代読することとなった.

(2) 運営財政部会：総務委員会 (西・山本)

<共催・後援依頼, 他団体の募集等>

1. 朝永振一郎記念第9回「科学の芽」賞 (筑波大学) 後援依頼→例年通り承諾. 2013年度報告書添付

2. TECHNO-OCEAN 2014: 同 実行委員会 (10/2-10/4 神戸) 協賛依頼を承諾

3. 第58回粘土科学討論会 (9/24-27, 福島市, 日本粘土学会) 共催依頼を承諾.

4. NPO法人日本地質汚染審査機構より第13回地質汚染調査浄化技術研修会 (4/25-27 潮来市) の共催依頼を承諾 → HP, geo-flash に掲載

5. 藤原科学財団「藤原セミナー」の募集: 2015~2016に開催される自然科学分野のセミナーへの助成, 2件態度, 〆切7/31→News, HP, geo-flash に掲載

6. 日本学術振興会26年度「育志賞」の推薦, 受付期間6/11-6/13, 学会〆切5/16→News, HP, geo-flash に掲載

7. 山田科学財団, 2017年開催の国際学術集会開催助成の募集, 150名規模, 800万円助成, 2014/4/1-2015/2/27

8. 広島県「イノベーション人材育成事業補助金」広島県内中小企業対象, 随時募集→News, HP, geo-flash

掲載

9. (株)ダイヤコンサルタント, 役員交代の挨拶状, 新社長 前川一彦氏

10. 地球惑星連合の総会に会長出席 (5/2)

<会員>

1. 今月の入会者 (8名)

正会員 (1名): 北村滋之

正〔院割〕会員 (6名): 河原弘和, 浅野有希, 中畑浩基, 矢野萌生, 兵東玄威, 新井慧太

正〔学部割〕会員 (1名): 前田真済

2. 今月の退会者 (178件) → 回覧 2013年度末退会者・除籍者一覧

退会者 (105件): 正会員93名, 正〔院割〕会員12名
除籍者 (73名): 正会員 73名 (2010年からの会費滞納者)

3. 今月の逝去者 (1名)

正会員 (1名) 服部陸男 (逝去日: 2014年3月13日)

4. 3月末日会員数

賛助: 27 名誉: 66 正会員: 3727 (正会員: 3519,

正〔院割〕会員: 188

正〔学部割〕会員: 20 合計 3820 (昨年比 -55)

5. 2014年度50年顕彰会員: 1964年入会者 21名

石川輝海 浦川洋一 大村一夫 小澤智生 加瀬靖之 神谷英利 小勝幸夫 小松正幸 斎藤靖二 沢田庄一郎 塩田次男 柴田 賢 下西繁義 菅野耕三 高橋堅造 滝沢文教 中馬教允 都築 宏 波田重熙 早津賢二 山中 博*

*山中氏は1954年入会, ファイルの入会年の記載間違いにより今回となった。

<会計>

・2013年度決算概要・2014年度予算案

13年度決算は, 現時点の概算で300万円弱の赤字. 14年度予算は概ね前年度並みの見込みでたてたが, 年度替わりでの会員の除籍, 退会が意外に多くあったので収入予算を見直す必要がある。

(3) 広報部会: 広報委員会 (内藤・松田)

広報委員会で英語HPを試作した。

(4) 学術研究部会 (井龍)

・地層名登録の整備について

新たな層序単元の登録について本会側の体制を整える。

(5) 学術研究部会: 行事委員会 (星)

・鹿児島大会その他について

シンポジウムとトピックセッションについて紹介があった。一部セッションのタイトルを修正する方向で検討する。

(6) 編集出版部会: 地質学雑誌編集委員会 (山路)

・編集状況報告 (4月3日現在)

2014年投稿論文 総数32編 [総説2 (和文2)・論説15 (和文15)・ノート1 (和文1)・報告5 (和文4・英文1)・口絵1 (英文)・巡検案内9]

査読中 34編 受理済み 4編 (うち特集号1)

・120巻3月号: 論説2 (計約25頁 3/27発送済み)

・120巻4月号: 論説1, 報告1 (約30頁, 入稿準備中)

(7) 編集出版部会: Island Arc編集委員会 (伊藤)

・編集状況

(8) 編集出版部会: 企画出版委員会 (山口・保柳)

・富士・青木ヶ原たんけんマップは理事会メール審議に付し, 3月31日に刊行した。

・国立公園地質リーフレットおよび国立公園地質リーフレットたんけんシリーズの刊行では, 実際には国立公園だけが対象とはなっていないので, 現実に即して名称変更することとし, 細則を変更することとした。

・岩波書店「地球全史スーパー年表」(清川昌一ほか著, 地質学会監修) が2月18日発行 (4000部) されたが, 現在2刷りをして販売数は6000部超。

・朝倉書店の地方地質誌: 東北地方および四国地方については, 原稿が5~6月頃にまとまる予定なので, 出版は来年になる見込みとの連絡があった (予定が遅れている)。

(9) 社会貢献部会 (高木・平田・中澤・保柳)

・春季地質調査研修会 (5/12-5/16) 参加者募集中。

・2014年地質の日イベントは, 5/10に応用地質学会との共催により, 街中ジオ散歩「下町低地の地盤沈下と水と暮らし」を開催予定, 参加者募集開始。その他支部等での地質の日のイベントのうち, 現時点で計画されているものは別紙のとおり。

(10) 地学オリンピック支援委員会 (平田)

・国際地学オリンピック日本大会の組織委員として会長に就任要請があった。今後, 代表者が変更した場合には順次委員も交替してゆくことになる。後で記入 (平田さん加筆お願いします)。

・支援委員会にて来年度の予選問題の取りまとめ中
・3月22日に科学の甲子園にて, キャラクターデザインコンテストのチラシを配布。

・3月23日~25日に第6回日本地学オリンピック本選が実施され, 優秀賞10名などを選出された。この際, 本選参加者に地質学会からジオルジュ2冊を参加記念品として提供した。優秀賞受賞者10名は引き続き, 3月25日~26日に日本代表最終選抜にのぞみ, 4名の日本代表が選出された。

・本地学オリンピック本選に関するプレス発表は, 4月9日に地学オリンピック日本委員会HPにて行う。

・4月9日に三重県知事が第10回国際地学オリンピック三重大会開催の記者発表を行う予定。

(11) 中期ビジョン委員会 (坂口)

・4/14-16に宇都宮市 (コンセーレ宇都宮) で合宿委員会を開催する。

2014年5月10日

一般社団法人日本地質学会執行理事会
会長 (代表理事) 石渡 明
署名人 執行理事 斎藤 眞